



白銀

200名の会員、100名のメイト読者を目指そう！

新日本スポーツ連盟神奈川県スキー協議会
横浜市神奈川区神奈川2-14-16トーリックビル3F
Tel045-534-5557 Fax045-534-5554
発行責任者: 杉田 厚
編 集: 北村 理・古屋 仁・吉越 貴幸・今井 泰雄
Email: mail@kanagawaski.org
URL: <https://kanagawaski.org>

「新しい風」が吹き始めた

第58回県スキー協定期総会

神奈川県スキー協議会 会長 杉田 厚



7月6日(日)、代議員17人(委任3人)、役員13人出席で県スキー協定期総会が開催されました。

来賓としてご出席された新日本スポーツ連盟県連盟吉成理事長から「昨年被爆80周年を迎える前にノーベル平和賞を受賞した。スポーツは平和とともに活動している団体として大変心強い。反核マラソンも県内多くの市長からメッセージと協賛を戴き嬉しく思っている。スポーツ連盟の事務所を移転する予定。老舗のスキー協が会員数増加に転じたと聞きうれしく思う。ともに盛り上げていこう」とあいさつがありました。全国スキー協会長和田さんからメッセージが寄せられました。

議案は、①今期の活動報告、②決算報告、③来期方針、④来期予算、⑤役員選挙結果の公表、⑥大会の構成者についての規約改正の6つが提案されました。

今期の活動については、2年連続で会員増と前進の萌芽が生まれてきていること、来季に向けてその取り組みをさらに前に進めようと提案されました。

討論では各クラブから活動の特徴と県への意見が述べられました。

○悠遊スキークラブからは、運営委員会の毎月開催でクラブの推進役となっていること、スキー祭

りでの教室の開催(3回)と平日スキーでの教室開催、シーズンで118名の参加を得ている。

会員拡大ではお誘いリーフを作成し行事へのお誘いとともクラブのお誘いを追求。

機関誌を月1回発行、オフシーズンの活動としてハイキング部と釣り部があるなど多彩な活動の紹介がありました。

○SGRTからは、クラブ独自では1月に、「おお遊び」と称してさかえ倶楽部スキー場で遊んでいる。

オフシーズンは買い物ツアーやBBQを行っている。

クラブの行事は県行事に参加しながらそこにクラブ独自の付加価値をつけて誘っていると紹介。意見として①競技の大会というネーミングを変えたらよい、②大会で撮影される写真を売りにしたら影響広がるのでは?③祭典でのアンケートが活かしているのか疑問、④指導員がコースを熟知していない、事前に共有を、⑤祭典でクラブへの勧誘があるが参加者からどんなクラブがありどんな活動しているのか分からないのでしおりなど入れたらよい、との5点出されました。

関連して以前作った県のクラブ紹介リーフの所在について質問が出されました。

○紹介リーフについては、現在所在不明となっているとのことで新しいものを作る提案中とのこと。

○また、クラブとは何ぞや?というところが伝わりやすい工夫が必要との意見がありました。

○スノーブリーズ SCからは、新入会員から「祭典に応募するにあたって、どういう団体か調べまくって大丈夫と判断して申し込んだ。」

また「祭典のチラシは内容も盛りだくさんでファミリーも子どもも楽しめる、それで安い、宣伝次第で大量申し込みになるかと思う。」と感想が。

クラブの活動としては12月にシーズンインし5月まで月1回の行事をやっている。

会員も3人増えていい傾向と思っているが車が足りない。

他のクラブはキャパオーバーの時どうしているのか、バスとか新幹線というのも聞くが、ここを聞きたいと提起されました。

○DSSCからは、クラブにはぼつりぼつりと会員が増えている。

HPからや身近な人からの声掛けで入ってくれた。

HPをのぞいた人は、ニーズがそれぞれ違っていたので、ウリを明確にしていったら良いと思う。

私にとってはスクールを組んでもらい何かしらプラスになって帰れるところが満足、こうしたウリを出していったら良い、世代交代が難しい。

との意見でした。

○横須賀スノードルフィンSCからは、48周年でかなり古いクラブ、10人足らずでスキーに行ったりBBQで40人集めたりしている。

スキーは年4回、BBQは年3回、温泉2~3回、8月にキャンプと月1回は何らかの行事を組んでいる。

50周年までは頑張らねばと思っているが新しい風が欲しい。

○横浜モルゲンロートSCからは年3回のクラブ行事とそれ以外は県行事に参加という形でやっている。

クラブ行事はテーマを決めている。ハイシーズンはカービング、春スキーはコブなど、ボードが多くなってきているのでボード部会を作って特別の行事をとも思っている。

みんなで作り上げてクラブ行事としている、多種目との交流（ウォーキングクラブ）をしている。身延山や富士山など、横浜モルゲンロートスキースノーボードクラブに改名した。

と紹介されました。

討論のまとめでは吉越事務局長から「様々ご意見をいただいた。スキー協にそよいでくる新しい風を感じた。初めて参加された3名から貴重な意見をいただいた。いただいた意見は、新しい運営委員会で検討し白銀などで伝えていきたい。新しい方をお客さんにせず運営の中心メンバーとしてスキー協の改善を進めてほしい。県としても進めていきたい」とまとめました。

その後採決を行い、活動報告、決算及び監査、方針、予算及び規約改正は承認され選挙結果の公表については否決されました。

最後に次期役員の選挙が行われ新たな12名の運営委員会、2名の会計監査委員が選出されました。

第58期役員

会 長	：	杉田 厚（スノーブリーズ、SC・再）
副 会 長	：	北村 理（悠遊SC・再）
		齊藤 和敏（DSSC・再）
		古屋 仁（横須賀スノードルフィンSC・再）
事務局長	：	吉越 貴幸（SGRT・再）
運営委員	：	井上 成一（横浜モルゲンロートスキースノーボードクラブ・再）
		今井 泰雄（スノーブリーズ、SC・再）
		齊藤 翔平（SGRT・再）
		白井 精一（悠遊SC・再）
		諏江 信雄（悠遊SC・再）
		高橋 久（SGRT・再）
		宮川 秀久（横浜モルゲンロートスキースノーボードクラブ・再）
会計監査	：	金子 隆一（スノーブリーズ、SC・新）
		田中 貴子（エルベSC・再）

〜〜

各部局・委員会の組織構成と担当割

各部局・委員会の組織構成と

- 技術局┐技術部 ★北村、杉田、吉越、諏江、齊藤和敏
★杉田┐競技部 ★杉田、齊藤翔平、高橋、今井、吉越
└（スノーボード部準備会）★宮川秀、吉越、
事務局┐組織部 ★吉越、齊藤和敏、白井

★吉越 ト財政部 ★高橋、井上、吉越、
トメイト ★井上、諏江(配布・財政)
└ホームページ★齊藤和敏、白井、吉越
※ホームページだけではなく、f b、X
なども含めて展開を。

白銀編集委員会 ★古屋、吉越、北村、杉田、今井

神奈川スキー祭典実行委員会：全員で取り組みます。

(実行委員招集の文書をクラブ代表へ通知を)

春スキー祭典実行委員会：全員で取り組みます。

(実行委員招集の文書をクラブ代表へ通知を)

クラブ担当割

悠遊SC		北村、白井
SGRTSC		齊藤(翔)
スノーブリーズ SC		今井
DSSC		齊藤(和)
エルベSC		古屋
横須賀スノードルフィンSC		古屋
横浜モルゲンロートスキースノーボードクラブ		宮川



悠遊第 32 回定期総会



7 月 13 日(日) 県民センター

37 人参加

第 32 回悠遊スキークラブの総会が 7 月 13 日 37 人の出席、22 人の委任状で開催されました。仁木会長の挨拶では、人間が作り出した地球温暖化の心配や 30 周年記念行事の協力に感謝の言葉があり、また、来賓の古屋 仁 氏(県スキー協副会長)は、県スキー協の役員として悠遊から 3 人送り出していることへ感謝の言葉がありました。その後、総会役員を選出して第 1 号議案の 2024 年度活動報告、会計報告等が南事務局次長から報告。

質疑では、

- ・安全面でボーダーとの接触があったことに関して、どのような事故だったのか？
- ・何か注意点はあるのか？

の質問が出された。

安全担当から、事故の状況説明があり、会員からも大回りの滑り方等の注意などが話された。

第2号議案は2025年度の活動方針は仁木会長から提案。

第3号議案の役員体制の選挙があり、17人の役員が信任されました。

新しく会長に選任された小神新会長より「楽しく安全でちょっとでも技術が向上すれば」とのモチベーションでやっていきたいとの挨拶がありました。

その後、親睦会は「月あかり」で28人が参加し、どこのゲレンデに行きたいか？と意見をききました。蔵王、志賀高原、尾瀬岩鞍、ルフツ。富良野、柕池、野沢、安比、ニセコ、赤倉、ネコマ、万座等々たくさん行きたいゲレンデがあるということは、まだまだ気持ちが若い悠遊スキークラブです。

(北村 理)

(北村 理)

~~~~~

## 2025—2026 シーズン「賠償保険」と「傷害基金・救出基金」の申込について

全国勤労者スキー協議会

「賠償保険」：他人にケガなどをさせた対人賠償、他人の持ち物を破損などして損害を与えたときの対物賠償を目的とした保険で、取り扱いはいいおいニッセイ同和損害保険株式会社となります。

「傷害・救出基金」：全国勤労者スキー協議会及び地方スキー協議会、クラブが主催する行事中に発生した事故による傷害、捜索、救出などの経済的負担を軽減するための相互共済扶助を目的とした基金で、取り扱いは全国勤労者スキー協議会となります。

※ 賠償保険、傷害・救出基金、傷害見舞金制度(スポ連)の加入申込書及び詳細については、全国スキー協のホームページに掲載します(8月中旬ごろ)。

申込書・振込口座が各種異なっておりますので、間違いの無いように、よろしくお願い致します。

ホームページ URL [http:// www.mm.jp. or. jp/wsa](http://www.mm.jp.or.jp/wsa)

全国勤労者スキー協議会 事務所 〒114-0014 東京都北区田端 1-24-22 山柿ビル

TEL : 03-5842-1931      FAX : 03-5834-8723

※詳細は次頁

~~~~~

ク ラ ブ	行事名称	日 程	会場(スキー場)
県スキー協	組織部主催 オフトレ企画	1 0 月 1 9 日	反町公園
県スキー協	クラブ交流セッション 金沢オリエンテーリング&BBQ	1 1 月 3 日	野島公園 もしくは 海の公園
県スキー協	クラブ代表者会議	1 1 月 1 9 日	県スキー協事務所

杉田会長のもと、役員が、
そして会員が一丸となつて、
その風に乗って行こうじゃあ
りませんか。

$$(\mathfrak{f})$$